



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月8日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高橋 俊輔 TEL 03-5493-5629
 経理部長兼IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績（平成27年9月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	5,759	△0.2	420	17.1	436	10.3	262	18.0
27年8月期第1四半期	5,772	△5.6	359	△14.6	395	△8.9	222	△9.4

(注) 包括利益 28年8月期第1四半期 242百万円 (△41.9%) 27年8月期第1四半期 418百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第1四半期	12.32	—
27年8月期第1四半期	10.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第1四半期	30,168	21,738	72.1	1,020.49
27年8月期	28,488	21,623	75.9	1,015.08

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 21,738百万円 27年8月期 21,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年8月期	—				
28年8月期(予想)		6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,800	0.2	420	1.6	480	1.5	240	6.9	11.27
通期	22,000	0.1	320	38.8	370	2.4	150	34.2	7.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期1Q	21,302,936株	27年8月期	22,502,936株
② 期末自己株式数	28年8月期1Q	344株	27年8月期	1,200,192株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期1Q	21,302,656株	27年8月期1Q	21,304,151株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られ、訪日外国人の増加に伴うインバウンドビジネスが活況となる等、消費に明るい兆しが見られました。一方で、為替変動による円安の影響や中国経済をはじめとした海外経済の下振れ等がリスクとして顕在化し、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、こうした環境が消費者の購買心理に与える影響は大きく、依然として厳しい状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは中期ビジョンとして掲げた「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を実現するため、収益基盤の安定を図ると共に、成長に向けた積極的な投資を行っております。

販売面では、当社最大の基幹ブランドである「クロコダイル」を成長事業として位置付け、集中的に投資を行い収益の拡大を図っております。また、会社設立70周年に向けた新規事業の開発及び不採算事業を整理する最終年度とし、更なる会社の成長と収益性の高い事業の構築を目指しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が57億5千9百万円（前年同期比0.2%減）と微減収になりました。利益面では売上総利益率は50.0%と1.0ポイント低下しましたが、販売費及び一般管理費の改善等により、営業利益は4億2千万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は4億3千6百万円（前年同期比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千2百万円（前年同期比18.0%増）と増益になりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業57億1百万円（前年同期比0.2%減）、不動産賃貸事業5千8百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は171億円となり、前連結会計年度末と比べ22億4千8百万円増加いたしました。主な要因につきましては、商品及び製品が13億9千3百万円増加したことによるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は98億1百万円から3億5千1百万円減少し94億4千9百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は9億5千9百万円増加し、29億4千7百万円となりました。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は130億6千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億6千8百万円減少いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が6千6百万円減少し、投資有価証券が1億8千5百万円減少し、差入保証金が3億2千1百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は67億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億3千8百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が15億8千1百万円増加し、未払法人税等が1億1千6百万円増加したこと等によるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は16億4千万円となり、前連結会計年度末と比べ7千3百万円減少いたしました。主な要因につきましては、退職給付に係る負債が2千4百万円減少したこと等によるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は217億3千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千5百万円増加いたしました。主な要因につきましては、自己株式の消却を実施したことにより資本剰余金が6億5千6百万円減少し、自己株式が6億5千6百万円減少し、利益剰余金が1億3千4百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2千5百万円減少したこと等によるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.9%から3.8ポイント低下し、72.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成27年10月9日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,150,431	4,498,601
受取手形及び売掛金	1,987,907	2,947,221
有価証券	5,650,806	4,951,064
商品及び製品	2,480,228	3,873,561
仕掛品	72,392	62,947
原材料及び貯蔵品	46,022	86,019
繰延税金資産	151,296	195,637
その他	313,210	485,843
貸倒引当金	△436	△662
流動資産合計	14,851,860	17,100,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,046,590	1,980,648
機械装置及び運搬具(純額)	41,575	41,688
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産(純額)	43,871	40,192
その他(純額)	81,282	84,248
有形固定資産合計	10,144,504	10,077,962
無形固定資産		
投資その他の資産	78,023	73,829
投資有価証券	2,295,711	2,110,708
差入保証金	1,003,023	681,029
繰延税金資産	10,316	9,899
その他	124,780	134,226
貸倒引当金	△19,336	△19,336
投資その他の資産合計	3,414,496	2,916,527
固定資産合計	13,637,024	13,068,320
資産合計	28,488,884	30,168,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,586,470	5,167,516
1年内返済予定の長期借入金	140,003	123,170
未払法人税等	101,991	218,194
賞与引当金	113,196	—
返品調整引当金	28,000	44,000
ポイント引当金	63,646	59,440
資産除去債務	46,532	59,038
その他	1,070,760	1,117,593
流動負債合計	5,150,600	6,788,953
固定負債		
長期借入金	1,150,000	1,150,000
退職給付に係る負債	172,170	147,550
資産除去債務	126,419	114,102
繰延税金負債	47,391	33,676
その他	218,331	195,285
固定負債合計	1,714,312	1,640,614
負債合計	6,864,913	8,429,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	4,988,692
利益剰余金	10,907,511	11,042,050
自己株式	△656,376	△223
株主資本合計	20,813,694	20,948,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469,146	443,236
繰延ヘッジ損益	△25,955	△28,851
為替換算調整勘定	295,815	305,398
退職給付に係る調整累計額	71,269	71,031
その他の包括利益累計額合計	810,276	790,814
純資産合計	21,623,971	21,738,987
負債純資産合計	28,488,884	30,168,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	5,772,715	5,759,598
売上原価	2,806,781	2,865,308
売上総利益	2,965,933	2,894,289
返品調整引当金戻入額	31,000	28,000
返品調整引当金繰入額	51,000	44,000
差引売上総利益	2,945,933	2,878,289
販売費及び一般管理費	2,586,726	2,457,558
営業利益	359,206	420,731
営業外収益		
受取利息	4,339	5,251
受取配当金	4,273	3,960
為替差益	24,868	694
その他	9,240	11,647
営業外収益合計	42,722	21,554
営業外費用		
支払利息	5,430	5,018
その他	547	490
営業外費用合計	5,977	5,509
経常利益	395,951	436,776
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,742
特別利益合計	—	34,742
特別損失		
固定資産除却損	21,387	1,745
投資有価証券売却損	—	1,583
減損損失	—	47,395
特別損失合計	21,387	50,725
税金等調整前四半期純利益	374,564	420,793
法人税、住民税及び事業税	220,339	202,104
法人税等調整額	△68,092	△43,665
法人税等合計	152,247	158,438
四半期純利益	222,316	262,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,316	262,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)
四半期純利益	222,316	262,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,947	△25,910
繰延ヘッジ損益	41,377	△2,895
為替換算調整勘定	97,727	9,582
退職給付に係る調整額	△200	△238
その他の包括利益合計	195,852	△19,462
四半期包括利益	418,169	242,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,169	242,893
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月9日開催の取締役会決議に基づき、平成27年10月27日付で、自己株式1,200,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ656,213千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,988,692千円、自己株式が223千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,711,975	60,739	5,772,715	—	5,772,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,711,975	60,739	5,772,715	—	5,772,715
セグメント利益	536,670	27,969	564,639	△205,433	359,206

(注)1. セグメント利益の調整額△205,433千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,701,339	58,259	5,759,598	—	5,759,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,701,339	58,259	5,759,598	—	5,759,598
セグメント利益	622,937	15,028	637,966	△217,234	420,731

(注)1. セグメント利益の調整額△217,234千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて、47,395千円の固定資産の減損損失を計上しております。